みえるメ

の

宇根篤暢

ーゲットは、 高の機

日常は

で

年になるとは、本当に感慨年になるとは、本当に感慨を考えていたのがある。防大に着であからいた。とは、本当に感慨であからいた。とはその通り実行するととが少ないようとはどまじめで、言っととはどまじめで、対かることはどまじめで、対かることをするが、学生の本分であかかることをするが、学生の本分であいた。学生の本分である。となるとをすべて覚えることをすべて考えよばかりないように思うとなるとをすべて考えようとする。 に、本当に感慨を立てて考えようとする。 に、まさにあいる。 に、まさになるとは、本当に感慨を対かることをするにとが、学生の本分であるととなってで考えよびかりないように思える。 に、まさに表しているとは、本当に感慨を表しているに、まるとをすべて考えることをすべて考えれば、本当に感慨を表している。

ではあるがになるではあるが

ほど 変

わ って

・ 1 5 年

新 木村博機械工学科長 機械 のあ 学の構築を目指

機械工学は、工学の雄、として現代文明を築いています。「工」の字は、天と地を表す上下の横線を縦線でを賜る意であります。所名がに調和と美をもち橋渡しかに調和と美をもち橋渡しかに調和と美をもち橋渡しかに調和と美をもち橋渡しかに調和と美をもち橋渡しかに調和と美をもち橋渡しかに調和と美をもち橋渡しかに調和と美をもち橋渡しかに調和と美をもち橋渡しかに調和と美をもち橋渡しかに調和と美を地のであります。 「もの創り』に向う新たなパラダイムをもつ機械工学は、工学の雄、不可欠になっています。

がましょう. 緒に新し 械 工学を

職を作るところから扱うと さころまでの知識が得られま 大に作ります。しかし、実 大に作ります。しかし、実 大に作りすぎると、重くな をして使ったり、コストがかかると になり、コストがかかるように作ります。ある想定の力、要ればないよい。で良しとするではある場合は がに壊れるようにただし、通常はコストがかかることになり、コストがかかることになり、これでは、製品 をになり、コストがかかるようにで良しとするでしたことになり、通常はコストがかかることになが、その自動まず。したことになります。はいるが、その自動まではあるが、その自動まではあるがでしたときに

ましょ

今までと

遂げてもらいたい. ・ 多くの人と良いつきあいをして欲しい.良い友, ができないことを是非成しかできないことを是非成しかできないことをと非成しかできないことを表する。 かできないことをとれることが必



221小隊 西原功二 私は今回初めて、学術発表というものを経験しました。今までは同じ年代の人たちは私たちのですが、教ることが多かったのですが、教ることが多かったのですが、教者を表してしました。日度も何度も行練習を行いました。何度も何度も行練習を行いました。何度も何度も予ませんでした。何度も何度も予ませんでした。何度も何度も予ませんでした。私はただ覚えるのではなく、理解することのかし、たが起きてしまい、様でしまいだなりました。日度は経験でした。日間ではなく、理解することはであるなに一度は経験であり、と思いました。

中,発表の構成や説明の光表練習中,発表の情が足りやすいように発表するのはとれまったり、説明する筈のポイントが抜けてした。途中で言葉にいようにと心がけてしまったり、人の前で話すことに関き取ってもらいようにと心がけてしまったり、説明する筈のようにと心がけて話すことに関れてはいてもりいました。私知識が足りないけて話すことは、アクワクドキドキスも珍しく、ワクワクドキにして臨んだ当時の報が足りないました。私が発表したを知識が足りないなけて話すことは、院生が1名祭の事件分野についてのはというのはというのはといました。私が発表した。 護進しようと思いました。 護進しようと思いました。 一般大学のキャンパスも珍しく、ワクワクドキドキスも珍しく、ワクワクドキドーとはいていました。 大学のキャンパスを対した。 一般大学のキャンパスが発表した。 一般大学のキャンパスも珍した。 本が発表した。 を対していました。 一般大学のキャンパスを対した。 一般大学のキャンパスを対した。 を対していました。 一般大学のキャンパスのは、これが発表した。 を対しようと思いました。 では、にはとても表ました。 では、にはとても表ました。 では、これを対して研究に

十月二十二日(土)山梨大学 工学部にて、日本機械学会関東 支部・精密工学科共催の山梨講 講会が行われた・地方講演会 はいえ、複数のセッションが同 時進行する比較的規模の大きな 者や他大学の大学院生が発表す る場となっている。また、九月 日本機械学会年次大会が行なわれた。その分野の専門家が集い、 を加した。大仕事を立派にやり 終えた学生諸君に素直な感想を 終えた学生諸君に素直な感想を 終えた学生諸君に素直な感想を がべてもらった。

221小隊 石井誠人 学会発表は自分が研究している内容、理論、方法を聞き手にる内容、理論、方法を聞き手に地他大学の学生、教授の方を前にた、しかし今回の学術講演会では他の防大生にはできない。第表前に念入りに準備を行った、発表前に念入りに準備を行った。発表前に念入りに準備を行った。発表前に念入りに発表内容、仕方をレベルアップ出来るよう今後の卒研に入り組んでいきた。か回の経験を生かり組んでいきた。か回の経験を生かり組んでいきた。

学会の様子の一部始終を強度設計講座前廊下のパネルにまとめました. 是非ご覧下さい.

四学年が学会

研究者の卵として デビュー

来春退官される宇根先生に、学生諸君に対するメッセージを寄せ 来春退官される宇根先生に、学生諸君に対するメッセージを寄せ 来春退官される宇根先生に、学生諸君は、心して読んでください。お互いの理解を深めることを目的に、学生から教官に主張した。この新聞を手に取った学生諸君は、心して読んでください。たいこと、教官の学生に伝えたいこと、機械工学科の未来像を語たいこと、機械工学科の未来像を語れていただきました。学科長木村先生には、機械工学科の未来像を語れていただきました。学科長木村先生には、機械工学科の未来像を語れていただきました。学科長木村先生には、学生諸君に対するメッセージを寄せ

発行所:機械工学科 責任者:学科長

機械工学科 学科長承認

之印

刊: H16 12/1 数:第九号

編集員:有志

科教育担当 藤子学科で学ぶる 藤原生 浩幸

学 科 工

222小隊 和田清貴 今回の講演会で発表すること の難しさを痛感した。自分の 時間の中で、どのようにしてわ いたい内容を10分という短い に「何度も卒研教官のダメ出しを に、今回の発表は非常にために、今回の発表は非常にために、発表 なった。最初はあまり乗り気で なった。最初はあまり乗り気で たったと本当に思っている。面倒 を見てくださった方々、本当に を見てくださった方々、本当に を見てくださった方々、本当に

-本私2 機は3 械東2 (学工**)** (学工**)** 工隊 で発表で発表 未大学で開[、] して きまれ

を読むだけでも一苦労でした を読むだけでも一苦労でした か一段 を読むだけでも一苦労でした を読むだけでも一苦労でした

本科学生時代の部屋長のお子さんと

防衛大学校システム工学群 機械工学科

得て大分楽になりました。 得て大分楽になりました。 は、一大の楽になりました。 は、一大の楽になりました。 は、一大の楽になりました。 は、一大の教官(西村教官)の表 でした。 では、前の家に帰りたいと をいう有名な教官でしたが、 も居眠りをすると一撃を貫う という有名な教官でしたが、 をいるとは思いもよりませんで した。西村教官を、息子は「じ なるとは思いもよりにお邪魔し した。西村教官で、少しで まさか毎晩お邪魔するように なるとは思いもよりませんで した。西村教官で、少しで もらっています。 と呼び、教官の奥様のときにお 本当のおじいちゃんとおばあ す。私も西村教官の奥様から といと、 も々と教えて頂き勉強になっ なった教育で、息子は「じ なった教育でしたが、 本当のおじいちゃんとおばあ なった教育で、息子は「じ なった教育の奥様のら なった教育ののときにお 本当のおじいちゃんとおばあ は、一、本当のおじいちゃんとおばあ なった教育ののときにお 本当のおじいちゃんとおばあ は、一、本当のおじいちゃんとおばあ なった教育ののときにお

(右端が著者愛息)

防衛大学校TOPへ▶

(2)

て色

(機械工学科) つて来るとまた 本科の皆:

に出逢えた違ったは、研究科は

防に

皆さん,

研

機械工学科にい究科学生として

し た

今回はそれとはまた違った世界を皆さんにご紹介したいと思います (ここからは私のくが思い付くのは学生運動という言葉をご存じですか?多くが思い付くのは学生運動とればかりではありませんが、を被り警察と乱闘する組織が存在するのです.

来の

お子さんの進学に

際

して

の

参 考情

はます.

1 日

本科生の皆さんは一般大の さいったものをイメージされ
るでしょうか?また
であっても機械マライフと聞くとど
方々や先輩達の話や様子から
異なったイメージを持たれる
のではないでしょうか?また
一大事に講義はそっちの
のではないでしょうか?まから
はほぼぼ24年の春にそれが落ち
が11年の
はほぼぞれ
のではないでしょうからは就
が2年の
ないでしょうか?から
はほぼぞれ
はいでいたように思います。
はまたに思いたように思います。
はまたに思いたように思います。
はまたに思います。
はまたによった。
はまたによった。
はまたによった。
はまたによった。
はまたによった。
はまたによった。
はまたによった。
はまたによった。
はまたによった。
はまたに思います。
はまたによった。
はまたはように思いまた。
はまたによった。
はまたによった。
はまたによった。
はまたによった。
はないまた。
はないまた。

所します。始めに、自治療は 介します。始めに、自治療は 介します。始めに、自治療は 育しい学生のみが入寮できる。 学生主体の寮であることから、汚水槽の処理やボイラー を作り、2週に1度食事の事門作業を除き、食 を作り、2月に1度食事当番としてその日の夕飯最大20人分に1度食事当番としてその時間を を作り、2月に1度成品清除、 に1度、一日掛けて寮の大 に1度、一日掛けて寮の大 を作り、ますがこれは欠席 を作り、ますがこれは欠席

(不定期刊行物)

ろん、昔の様な活動を続けている学生はほとんどいませんのほとんどは寮費や寮の自治をについて大学当局を相を行う程度のもので、さらには寮自体を行う程度のもので、こので渉を行う程度のもので、こので、こので、 学言学そ 生わ法れ 運れ人が旧 るが旧も私帝 - 参照のこと。) 彩について詳し 学にある 0 る自 詳しく (自治寮、 治国 もち

(注:あくまで・ 生生 月 に 1 年 次に , っると後 3 で 1 年 の 1 年 の 1 年 の 1 年 の 1 年 の 1 日

般大学のキャンパスライフ (注:の\本で一門」 (注:の\本で一門」 (注:の\本で一門」 (注:の\本で一門」 (注:の\本で一門」 (注:の\本で一門」 (注:の\本で一門」 (注:の\本で一門」 (注:の\本で一門」 (注:の\本で一個」 (注:の) (注:の\本で一個」 (注:の) (注: で後がに備って後がに毎年 台,個 な苦労の 室に

のの 寮トポ (6 ア学費インガ畳 そ パ生はレトスのか 1 が 月

ことを考えると破格の安さで場代, 食事代を支払っているさらに電気ガス水道代や駐車

で生春ではないでしまうででありますが、 を持たいっとは、 を持たいっとは、 を持たいっとは、 を持たいっとは、 をは、でして、 をは、でして、 をは、でして、 をは、でして、 をは、でして、 をは、でして、 をは、でして、 をは、でして、 をは、の下で新して、 をは、の下で新して、 をは、の下で新して、 をは、の下で新して、 をは、 をは、の下で新して、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をいっとは、 をにして、 をには、 をにして、 をにして、 をにして、 をにして、 をにして、 をにして、 をにし、 をにして、 をにし、 をにして、 をにして、 をにし、 をにし

ですで 参考

住み続ける学生も少なくありません。私も夜な夜な山へ遊り、Tエンジン O/Hを見んでに行ったり、玄関前でバイクのエンジン O/Hを見んで表別方留年しましたが、建屋は奇麗に登りと楽しいたようでした。機械科の私の同期に変を見に行きましたが、建屋は奇麗に登りと楽しいが、建屋は奇麗に登りと楽しいが、建屋は奇麗に登りと楽しいが、建屋は奇麗に受りと楽しいが、建屋は奇麗に受りと楽しいたが、建屋は奇麗に奏を見に行きましたが、建屋は奇麗に登りを表した。 というたと生生活もあります。ちまたまでは、およりでは、大学生された際にはが、おようないのに、かねてからいから、大学生された際には、大学生された際には、大学には、大学生が、大学生も少なくあります。

学科教官を知らずして機械工学科を語ることなかれ!

大きな、 一大を学び舎とした教官、 一大を学び舎とした教官がある。 一大を学び舎とした教官がある。 一大を学び舎とした教官がある。 一大を学び舎とした教官がある。 一大を学び舎とした教官がある。 一大大を学び舎とした教育を 一大大事な、大学にあたるが、学生諸君は何人の教官が、大学を ものがある。 またのが移する。 ものがある。 またのがある。 またのがある。 またのがある。 またのがある。 またのがある。 またのがある。 またのがある。 である。 は、、教育を知るとした教官はとなっている。 をといるにの表した教官はどの教官ない。 かもしれない。 ようにのよる。 である。 である。 である。 である。 は、、教育をとした教官はどの教官ない。 からで、まっている。 をとった教官はどのより、 がい、オーケストは紙ーもいった教官は といる。 のよりの表すに、 のたのより、 のためにいた教官はどのより、 のためにいる。 のより、 のたり、 のた で授い在 ってある。1 である。1 かってある。1 である。1 である。1 らが 授個学 を3准官 知名教が現

機械系2学科親睦会



校外: http://www.nda.ac.jp/cc/mech/ 校内: http://home.nda.ac.jp/cc/me/

校内向けサイトによれる でいます、本紙で のができます。 とができます。 とができます。 とができます。 でいます。本紙で をより深く知る でいます。 できます。 でいます。 でいます。 でいます。 できます。 できます。 でいます。 できます。 できます。 できます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいまな。 でいな。 はアクサ科のよ ヤス ・・・) (ただしカ ・・) 本紙で第 本紙で第 もご覧科 横といかと カリさいの紹問 4 リさいの 教売介 かり キュ 出授り ず生 ユ

レン用る

学科 ホ 委員 委員 員長ペ 小原 ホ 小笠原永久 原田 正範 -ジ Δ

て

1